



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月10日

上場会社名 株式会社ヒューマンクリエイションホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7361 URL https://hch-ja.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富永 邦昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 河邊 貴善 TEL 03 (5157) 4100
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	2,503	-	278	-	265	-	173	-
2020年9月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）包括利益 2021年9月期第2四半期 173百万円（-％） 2020年9月期第2四半期 -百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	93.62	-
2020年9月期第2四半期	-	-

（注）1. 当社は、2020年9月期第2四半期において四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年9月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2021年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2020年12月15日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	2,026	908	44.8
2020年9月期	1,855	637	34.3

（参考）自己資本 2021年9月期第2四半期 908百万円 2020年9月期 637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	-	-	-	0.00	0.00
2021年9月期	-	-	-	-	-
2021年9月期（予想）	-	-	-	48.98	48.98

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,083	11.4	503	65.7	503	65.9	309	47.4	164.10

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

連結業績予想については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 2021年9月期（予想）の1株当たり当期純利益は、公募株式数（50,000株）及びオーバーアロットメントによる第三者割当増資分（27,800株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	1,898,750株	2020年9月期	1,848,750株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	-株	2020年9月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	1,853,420株	2020年9月期2Q	-株

（注）1. 当社は、2020年9月期第2四半期において四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年9月期第2四半期の期中平均株式数（四半期累計）については記載しておりません。

2. 当社は、2020年12月15日付で普通株式1株について3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においては、当社グループの主要顧客である大手システム開発企業各社で、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は依然として残るものの、受注環境は回復傾向にあり、当社グループの事業活動において、受注に向けた営業活動の停滞、受注減少等に与える影響は限定的と認識しております。

このような事業環境のもと、当社グループは中長期的な経営戦略として、将来に向けた成長基盤の拡充と人財の育成を掲げ、「業界有数の人財数」、「業界有数の技術力」、「オリジナルの制度に基づく人財育成力」を実現すべく取り組んでまいりました。

1) 業界有数の人財数：中途採用市場が活性化しており、近年は競争激化の影響で採用数が鈍化していることを踏まえ、媒体広告や宣伝等にかかる費用は費用対効果を最重視し、候補者へのアプローチを広く、深くしていくとともに、成果報酬型採用等のエージェントを活用した採用活動も積極的に行っております。

2) 業界有数の技術力：当社グループ全体で注力している人脈活用による新規取引先の拡大と、取引先峻別によりコンサルタントやエンジニアの付加価値提供先の選択肢が増加し、かつ参画するプロジェクトの内容の高度化が進んでおります。高度なプロジェクトにおける現場経験を積むことに伴って、当社グループに帰属するコンサルタントやエンジニアの技術力が向上し、当社グループの人財のうちコンサルタント、プロジェクトマネージャー及びプロジェクトリーダーが占める割合を向上させていくことにより、業界有数の技術力を実現すべく取り組んでおります。

3) オリジナルの制度に基づく人財育成力：成果ではなく成果を生み出す行動を重視した人事制度の制定・改善や管理監督者を対象としたマネジメント研修の継続実施、24時間・場所を選ばずスキマ時間での学習が可能な当社グループオリジナルの階層別eラーニングカリキュラムや対話を重視した研究会・勉強会の補助等社内教育プログラムの拡充等により順調に進捗しているため、こうした取り組みを今後も継続してまいります。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,503百万円となり、営業利益は278百万円、経常利益は265百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は173百万円となりました（子会社別の売上高（グループ内取引の相殺消去前）は、株式会社ブレンナレッジシステムズ：1,576百万円、株式会社シー・エール・エス：516百万円、株式会社アセットコンサルティングフォース：312百万円、株式会社セイリング：217百万円となっております。）。

なお、当社グループはシステムソリューションサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ171百万円増加し、2,026百万円（前連結会計年度末比9.2%増）となりました。のれんの減少29百万円、法人税等の納付に伴う現金及び預金の減少20百万円等により減少した一方で、事業拡大に伴う売掛金の増加212百万円、その他流動資産の増加14百万円等により増加しております。

負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ99百万円減少し、1,118百万円（前連結会計年度末比8.2%減）となりました。外部パートナー活用に伴う買掛金の増加60百万円、未払法人税等の増加27百万円等により増加した一方で、主に、消費税の納付に伴う未払消費税等の減少144百万円、長期借入金の減少46百万円等により減少しております。

純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ271百万円増加し、908百万円（前連結会計年度末比42.5%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加173百万円、当社株式の東京証券取引所マザーズ上場に伴う公募増資の実施による資本金の増加48百万円、資本剰余金の増加48百万円により増加しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ20百万円減少し、565百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、45百万円の支出となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益265百万円を計上した一方で、事業拡大に伴う売掛金の増加による売上債権の増加額212百万円、法人税等の支払額79百万円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、17百万円の支出となりました。これは主に人財獲得力の強化と、より一層のグループ内コミュニケーション活性化や労働環境の改善を目的として、国内子会社における設備の改善をしたことに伴う有形固定資産の取得による支出12百万円があったこと、敷金の差入による支出4百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、41百万円の収入となりました。これは主に長期借入金の返済による支出46百万円、当社株式の東京証券取引所マザーズ上場に伴う有価証券届出書等の作成・印刷費用等による上場関連費用の支出9百万円があった一方で、当社株式の東京証券取引所マザーズ上場に伴う公募増資の実施による株式の発行による収入97百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の業績予想につきましては、2021年3月16日に「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」にて公表いたしましたとおりであり、当該業績予想に変更はありません。

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は、当第2四半期連結会計期間末時点において当社グループの事業活動に重要な影響を与えていないことなどを踏まえ、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響は限定的とした前連結会計年度末時点の仮定は変更せず、当社の通期連結業績予想への影響は軽微であると考えております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	586,016	565,170
売掛金	511,990	724,931
仕掛品	8,083	-
その他	22,410	36,592
流動資産合計	1,128,500	1,326,694
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	69,795	73,285
減価償却累計額	△16,438	△19,813
建物附属設備(純額)	53,357	53,472
工具、器具及び備品	26,856	32,500
減価償却累計額	△10,305	△12,173
工具、器具及び備品(純額)	16,551	20,326
有形固定資産合計	69,908	73,799
無形固定資産		
のれん	436,647	406,832
その他	7,394	5,633
無形固定資産合計	444,042	412,465
投資その他の資産		
敷金	86,730	88,595
繰延税金資産	124,399	123,530
その他	1,900	1,600
投資その他の資産合計	213,029	213,725
固定資産合計	726,980	699,990
資産合計	1,855,481	2,026,684
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,970	63,907
1年内返済予定の長期借入金	93,192	93,192
未払金	300,635	287,192
未払費用	57,750	56,089
未払法人税等	44,353	71,740
未払消費税等	234,272	89,940
賞与引当金	103,576	109,237
その他	16,745	16,210
流動負債合計	853,495	787,511
固定負債		
長期借入金	266,416	219,820
退職給付に係る負債	80,914	86,489
役員退職慰労引当金	17,617	24,792
固定負債合計	364,947	331,101
負債合計	1,218,442	1,118,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	117,790	166,550
資本剰余金	27,790	76,550
利益剰余金	491,457	664,970
株主資本合計	637,038	908,071
純資産合計	637,038	908,071
負債純資産合計	1,855,481	2,026,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
売上高	2,503,756
売上原価	1,787,415
売上総利益	716,341
販売費及び一般管理費	437,831
営業利益	278,510
営業外収益	
受取利息	2
為替差益	145
その他	929
営業外収益合計	1,076
営業外費用	
支払利息	1,020
上場関連費用	13,002
営業外費用合計	14,023
経常利益	265,563
税金等調整前四半期純利益	265,563
法人税、住民税及び事業税	91,181
法人税等調整額	869
法人税等合計	92,050
四半期純利益	173,512
親会社株主に帰属する四半期純利益	173,512

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	173,512
四半期包括利益	173,512
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	173,512

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	265,563
減価償却費	7,881
のれん償却額	29,815
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,661
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,575
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,175
受取利息	△2
支払利息	1,020
上場関連費用	13,002
売上債権の増減額(△は増加)	△212,940
未払費用の増減額(△は減少)	△1,661
その他の資産の増減額(△は増加)	15,043
その他の負債の増減額(△は減少)	△100,360
小計	35,773
利息の受取額	2
利息の支払額	△1,020
法人税等の支払額	△79,805
営業活動によるキャッシュ・フロー	△45,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△12,612
敷金の差入による支出	△4,763
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,375
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△46,596
株式の発行による収入	97,520
上場関連費用の支出	△9,343
財務活動によるキャッシュ・フロー	41,580
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20,845
現金及び現金同等物の期首残高	586,016
現金及び現金同等物の四半期末残高	565,170

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年3月16日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。上場にあたり、2021年3月15日を払込期日とする公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行50,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ48,760千円増加しております。この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が166,550千円、資本剰余金が76,550千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を使用できない場合は、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、システムソリューションサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。